

2025年日本国際博覧会
(大阪・関西万博)について

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 2023年6月時点

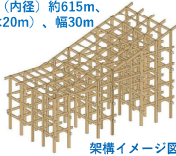


3

会場デザイン② ～大屋根（リング）～



円周約2km、直径（内径）約615m、高さ12m（外側は20m）、幅30m



架構イメージ図

リング1F：グラウンドウォーク



リング2F：スカイウォーク



9

会場レイアウト①（会場予定地 約155ha）



最新の模型公開



フリスルー動画

・フルVer：https://youtu.be/Wq7rMwEve
・30秒Ver（ダイジェスト版）：
https://youtu.be/09RtK1wIwft



10

会場レイアウト② パビリオン



11

公式参加パビリオン

- 大阪・関西万博の3つのサブテーマを通して、テーマの実現を目指す。
- 世界各国の公式参加者（参加国や国際機関）は、それぞれの立場からSDGs達成に向けた優れた取り組みを持ち寄り、会場全体でSDGsが達成される未来社会の姿を描く。

サブテーマ	公式参加パビリオンのテーマで展開のトピック例	SDGs 17のゴール
一つ以上を選択	個人の成長、社会発展の推進、経済発展による富の増進	一つ以上に取り組み
Saving Lives (いのちを救う)	生活の中心健康、健康寿命の延伸（長寿）の促進、多世代と食生活、異文化間の理解、災害対策と生活等	
Empowering Lives (いのちを力を与える)	自己実現、ファッション、笑い、観光、文化、芸術、スポーツ、学び等	
Connecting Lives (いのちをつなぐ)	デジタル活用、地球環境を重視した行動、気候変動への適応等	

150の国及び25の国際機関の参加を目指す

12

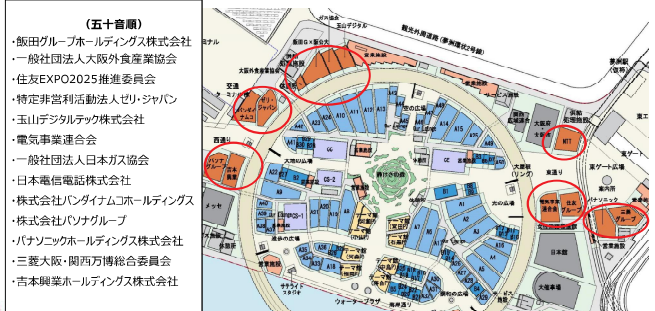
企業・団体等の参加 ～多様な参加形態を用意～

- 企業・団体等はともにテーマの実現をめざすパートナー。大阪・関西万博では、これまでの万博よりも幅広い、多様な参加形態を用意。
- パビリオン出展、テーマ事業協賛、未来社会ショーケース事業出展、催事参加、営業参加、広報・プロモーション参加、テーマウィーク、「TEAM EXPO 2025」プログラム参加、会場建設費等への寄附等

1パビリオン出展 募集終了 約100m ² の広さ	2テーマ事業協賛 資金・施設 物品・役務提供	3未来社会ショー ケース事業出展 事業出展 資金・施設・物品・ 役務提供	4催事参加 資金・施設・物品・ 役務提供	5テーマウィーク 資金・役務提供
6会場整備参加 運営参加 施設・物品・ 役務提供	7営業参加 営業施設出店 ライセンスビジネス	8万博応援参加 広報・プロモーション 寄付	9TEAM EXPO 2025 参加 共創・共創 共創パートナー	

13

「民間パビリオン出展」全パビリオンの出展場所が確定（2023.1.26発表）



14

テーマ事業の概要

テーマ事業名称	シグネチャープロジェクト（いのちの輝きプロジェクト）
テーマ事業の構成	「いのちの輝き」を語り、深め、未来に残すことを象徴するパビリオンとイベントで構成する

シグネチャーパビリオン

8人のプロデューサーによる展示で会場内最大級の規模型パビリオンを構成



シグネチャーイベント

会場の内外でイベントを実施

シグネチャーの意義

万博を象徴する特別な事業であらうという思いを「シグネチャー」という言葉に込めました。そして、テーマ事業が、その特徴であるクリエイティブ・デザインによって、8人の専門家が、テーマをそれぞれの哲学から語り深める「署名作品」でもあります。

15

テーマ事業「シグネチャープロジェクト（いのちの輝きプロジェクト）」のコンセプト・展示イメージ



大阪・関西万博テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」基本計画を2022年4月18日に発表

16

